

2020年度-2024年度 中期事業計画

フォスター電機株式会社

(東証一部：6794)

2020年11月18日

I. 中期事業計画（2020年度～2024年度）

大きな事業環境変化によりビジネスポートフォリオの見直し

「主要顧客向けヘッドセットビジネス」からの撤退、
「車載ビジネス」への舵切りを決断

決断理由

- ①スマートフォン市場の需要停滞、
主要顧客の戦略変更によるビジネスリスクの増大
- ②車載ビジネスの持つ将来性及びこれまで当社グループが
培ってきた完成車 / 車載関連サプライヤーとの取引関係、
車載ビジネスのノウハウを最大限生かせること

中期計画における重要課題

- 「車載ビジネスへの転換」の総仕上げ
- さらにその先を見据えた
MaaS、ウェアラブル、ウェルネス等の新規ビジネスの本格的事業化

1. **事業環境**
2. 中長期の目指す姿
3. 中長期の重点戦略
 - * 2020年度～2024年度 (中期)
 - * 2020年度～2030年度 (長期)
4. 財務目標 (中期) ・ ESGの取り組み

100年に一度の大転換期にある自動車市場

CASE、MaaS等の進展によりモビリティ社会、人間生活全体も大きく変化

新興国：所得増加による自動車市場拡大

先進国：新しい業態への利益構造の変化

自動車メーカーの収益構造の変化

従来の車開発を分業化(委託)する開発レイヤーの変更

先進国では数量減が予想されるが、
車室内の快適性向上のため高音質エンターテインメントスピーカの重要性が増す

ADAS、EV化での新機能需要の多様化
エン터테인먼트分野で求められる
当社製品の需要増

これらを実現する
当社グループの強み

音づくりの技術

高品質を実現する
安定的な品質保証力

グローバルな
生産網、営業網

静謐な車室内空間とエンターテインメントのための軽量・薄型かつ高音質のスピーカ・ヘッドホンならびに音場チューニング

従来のエンジン音に代わり歩行者には接近を知らせ、運転者には単に疑似エンジン音を発するだけでなく運転の楽しさを感じさせる音に進化した接近通報音スピーカ

運転者に危険を知らせる安全警報ブザー、振動アクチュエータ

緊急時の連絡通報のためのeCall用スピーカ

あらゆる機能が電子化されたコックピットで手指の触覚だけで作動を正確に感知させる振動アクチュエータ

環境変化

第5世代移動通信システム（5G）の関連分野が重要に

- ▶ 5Gを用いたサービスが次世代のインフラに
- ▶ 以下分野のデバイスがIoT化し新たな用途が拡大

ウェアラブル、ウェルネス、エンターテインメント、ロボティクス等

事業機会

音響のソリューションパートナーのリード役としてこれらの新しい市場へ積極的に取り組む（ビジネスポートフォリオの再構築）

生体認証技術を搭載したヒアラブルデバイス

臨場感を劇的に高めたゲームコントローラ

手首用のウェアラブル血圧計

AR/VRを実現するスマートグラス

音

聴覚

Sound to Life

振動

触覚

1. 事業環境
- 2. 中長期の目指す姿**
3. 中長期の重点戦略
 - * 2020年度～2024年度 (中期)
 - * 2020年度～2030年度 (長期)
4. 財務目標 (中期) ・ ESGの取り組み

2020年度

2024年度

2030年度

...

中期
(~2024年度)

目指す姿
OEM/ODMサプライヤーから
戦略パートナーへの昇華

長期
(~2030年度)

目指す姿
世界一の「音響」ソリューションパートナー

経営理念

ビジョン
未来社会に音で貢献する
ミッション
音に関わる製品やソリューションを通して、世界中により
快適な生活やコミュニケーションの喜びを提供し
社会から期待される企業になる

感性価値（聴覚、触覚）の提供

中期

OEM/ODMサプライヤーから
戦略パートナーへの昇華

顧客からの注文を待ってレスポンスしていくOEM/ODMの役割に留まらず、顧客により近い位置で開発・設計に携われる「戦略パートナー」へ。

今まで顧客が行なっていた快適性を高めるための「音場チューニング」や「静音技術」等で積極的に提案。

これらを通じて「音・振動に関する総合的かつより戦略性の高い製品」を提供。

長期

世界一の「音響」
ソリューションパートナー

未来社会に貢献する有望な産業分野、かつ聴覚・触覚に関わる分野で、「音響」ソリューションのスペシャリストとして貢献。

「音・振動のことならフォスターに聞こう！」という立ち位置を目指す。

注力分野：

MaaS、ウェアラブル、ウェルネス、
エンターテインメント、
計測器、静音/消音

1. 事業環境
2. 中長期の目指す姿
- 3. 中長期の重点戦略**
 - * 2020年度～2024年度 (中期)**
 - * 2020年度～2030年度 (長期)**
4. 財務目標 (中期) ・ ESGの取り組み

1. 音・振動に関わる分野での車載用製品・サービスのワンストップ営業戦略

- ・ 培ってきたオーディオ用デバイスに加え、ADAS対応振動アクチュエータ、AVAS/eCall用スピーカ、車載用ヘッドホンなど多様な製品をワンストップで提供し、車1台あたりの製品搭載数増を目指す
- ・ これを実現するため、車室内音場設計、多様な振動パターン設計による触感提案など、感性に訴えるサービスを充実

2. 地域別戦略

- ・ 日米欧： 事業別から地域別に製品を一括管理することで営業力強化
- ・ 中国： ブランド力と高品質な現地生産システムを生かした営業力強化

3. M&A戦略

- ・ 希少性の高いコア部品の内製化、足りない技術分野の獲得

新事業分野の開拓に注力し、当社グループの強みを生かしたソリューションを提供

MaaS

- ・ロボティクス、ラストワンマイル市場を想定した安全性の高い高耐久製品

ウェアラブル

- ・AR/VR向けスマートグラス用の音声用デバイス
- ・社会インフラとしての普及を見込む認証用デバイス

ウェルネス

- ・生体モニタリング用デバイス
- ・聴力補完用デバイス

エンターテインメント

- ・新しい感性価値を提供する高音質/振動デバイス

静音・消音

- ・音/音場に関するノウハウを生かした社会課題解決

1. 事業環境
2. 中長期の目指す姿
3. 中長期の重点戦略
 - * 2020年度～2024年度 (中期)
 - * 2020年度～2030年度 (長期)
- 4. 財務目標 (中期) ・ ESGの取り組み**

財務目標 (2024年度)

売上高 1,200億円

営業利益 50億円

営業利益率 4.2%

目標必達をベースに、当該中期事業計画を着実に遂行することで、売上高、営業利益及び営業利益率等をさらに高めていく。

戦略実現のための投資を積極的に実施。
一方で、健全な財務体質の維持を図りつつ、省人化、自動化、標準化等により筋肉質な企業体質を構築。

ESGへの取り組み

Be Happy 80%

社員をハッピーにできない企業にESGを推進することはできない。
「社員のBe Happy 80%」をESG活動の中心に。

2050年環境/品質目標

環境対応製品の充実とともに、
環境の「ゼロ・エミッション」、
品質の「ゼロ・ディフェクト」

【注記事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与えるリスクや不確実な要因に関する現時点における仮定等に基づいて算定しておりますが、実際の業績結果は、当社グループの事業領域を取り巻く経済状況・関連市場やOEM得意先の景況、国内外の競合状況・価格競争の動向、原材料市況、為替相場、海外展開上のリスク、国内外の法規制、災害・事故、株価等、多分に今後様々な要因によって上記予想・見込みとは異なるものとなる可能性がありますので、ご承知おきください。

【お問合せ先】

フォスター電機株式会社 IR・法務部 IR課

TEL : 042-546-2305 / FAX : 042-546-2317

〒196-8550 東京都昭島市つつじが丘一丁目1番109号